

「ダビデの怒り」

2026.4.15

聖書に学ぶ 38

I サムエル記 25:1～39

サウル王と和解したように見えてましたが、尚、ダビデは荒野をさまよう生活をしています。今回は、サウル王とは別の、粗暴で悪質な人間に対応した時のダビデの反応を見ます。

人は高慢になり易く、頑なな者です。しかしそれに気付かせる者が進言するとき、それを受け入れる心があることによって、罪からも災いからも守られることができます。

今日の学びの要点

私たちは、バカにされて必要以上に怒ってしまう事はないでしょうか。主は人を通して信仰による諭しを与えられます。一時は怒ったとしても、主にゆだねられ、明け渡され主が共におられる者の柔らかい心は、振り上げた手も下げることができます。

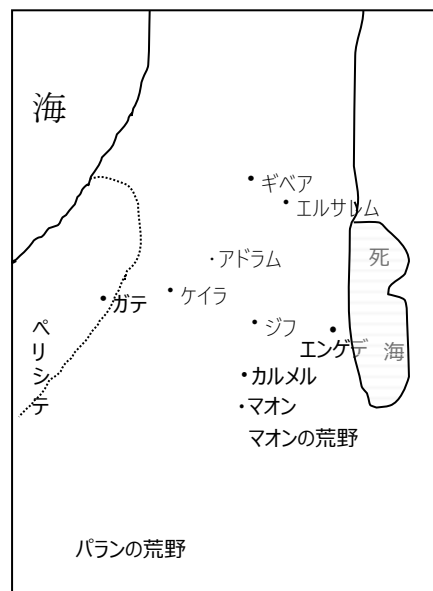
I、裕福で傲慢なナバル

1、ナバルという人はどの程度裕福な人でしたか。(Iサムエル記 25:2)

2、ナバルは、ヨシュア記のカレブの子孫とされます。ダビデとどのような関係でしょうか。

・カレブ——ユダ族(民 13:6, ヨシュア記 14:6)

・ダビデ——ユダ族(Iサムエル記 16:1、ルツ 4:18～22)



II、ダビデの怒り

「羊の毛の刈り入れ」は「祝いの日」とも言われ、このような時は、貧しい人たちに何か振る舞われることがありました。

1、パランの荒野にいたダビデは、カルメルにいるナバルに 10 人の若者を送り、何と伝えましたか。(Iサムエル記 25:6～8)

2、ナバルは何と言いましたか。(Iサムエル記 25:10)

3、ダビデはその応えを聞いて、どうしたでしょうか。(Iサムエル記 25:12~13)

①ダビデがそれほど怒ったのは、どうしてでしょうか。(Iサムエル記 25:21)

②400 人の家来たちにどうするように言ったのでしょうか。(Iサムエル記 25:22)

Ⅲ、災いを鎮め、執りなす者

1、ナバルの従者からの進言を聞いたナバルの妻アビガイルはどうした
でしょうか。(Iサムエル記 25: 17~19)

2、ダビデに、アビガイルはどのようなことを言いましたか。

①主人のナバルについて。(Iサムエル記 25: 25)

ナバル：「愚か者」、愚かさを表す「犬」の意味

②彼女がダビデについて、知っていたことは何でしょうか。

- ・サウルに追われているが、主が守っておられる。(Iサムエル記 25: 29)
- ・ダビデはやがて主によって、イスラエルの王になることを信じていた。(Iサムエル記 25: 30)
- ・ダビデが主の敵と戦うとき、主が守られるので負けない。(Iサムエル記 25: 28)

③主が殺戮の罪から守ってくださる。(Iサムエル記 25: 31)

3、ダビデはアビガイルの礼を尽くした執り成しを受けて、何と
言いましたか。(Iサムエル記 25: 34)

4、翌朝、アビガイルが夫ナバルにこれらの出来事を話したとき、
ナバルはどうなったでしょうか。(Iサムエル記 25: 37~38)